

IoTビジネス検討WG活動報告

～2016年度の活動概況と2017年度基本方針～

第6回IoT推進委員会シンポジウム

2017年3月10日(金)

一般財団法人 インターネット協会

IoT推進委員会

IoTビジネス検討WG

座長 佐々木一人

〔株式会社インターネット総合研究所〕

IA *japan*

目的

参画メンバー

2016年度活動方針

2016年度活動概況

2017年度活動基本方針

メンバー募集要項

IoT推進委員会の設立趣意・目的

『情報通信産業とその利用産業分野（建設業、運輸業、製造業、農業、医療など）との接点を持ち、それぞれの産業分野での課題を共有した上で、ビジネス創造の場とする。』

IoTビジネス検討WGの目的

会員企業相互の交流を図りつつ、適用分野の整理と課題を共有し、先行事例を踏まえながら、ビジネス化検討の支援を行う。

IoTビジネス検討WGの目指す姿

他のWGと連携を図りながら、IoTビジネスの創生を目指す。

IoTビジネス検討WG参画メンバー

- 2017年2月末時点のIoTビジネス検討WGの会員
参加メンバー20社（32名）、オブザーバー5社・団体（12名）が参画。

《メンバー》

株式会社インテック
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社インターネット総合研究所
EMCジャパン株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社
エブリセンスジャパン株式会社
Canonical Group Ltd.
KCCSモバイルエンジニアリング株式会社
東京ガスiネット株式会社
株式会社DTS
日本インターネットエクステンジ株式会社
株式会社日本レジストリサービス
Biz Mobile株式会社
フリービット株式会社
ヤンマー株式会社
株式会社LIXIL

《メンバー～続き～》

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社
株式会社リコー
かもめエンジニアリング株式会社
アルテリア・ネットワークス株式会社

20社

《オブザーバー》

総務省 情報通信国際戦略局 通信規格課
経済産業省 商務情報政策局 情報経済課
株式会社産業革新機構
一般社団法人iOSコンソーシアム
一般財団法人インターネット協会（他WG座長含む）

5社・団体

《事務局》

株式会社ブロードバンドタワー
株式会社インターネット総合研究所

2社

合計25社・団体

2016年度活動方針

- 2015年度は、9月からの約半年間、課題認識の共有、先進事例の共有、他WGの推進状況等、メンバー間での情報共有や認識合わせを中心に活動。
⇒ 課題認識の共有や展開施策に関する意見の一致や合意形成を推進。
- スピードの経済性が求められる今日のIoTビジネスでは、実証・実装を踏まえた協調・共創展開が鍵。
⇒ メンバー相互による協調・共創型ビジネスの具体的な実現を目指して、ビジネス検討WGも、さらなる加速化を図る必要がある。

2016年度の活動方針

ビジネス検討WGの下に、複数のサブワーキング（SWG）を組成し、先導的かつ独創的、また、IAJapan『らしさ』を求めた具体的な取組みを推進する。あわせて、ビジネス化に向けて、必須となる制度・規制環境の整備・構築に向けての提言等を取り纏め、社会への情報発信を目指す。

⇒ 実ビジネスの組成に向けてステータップを図る！！

2016年度活動概況(1)－WG①－

- 2016年度は合計5回のWGを開催
 - **2016/4/27：第1回WG〔場所；IAj会議室〕**
 - IAjIoT推進委員会の2016年度活動方針について
 - IoTビジネス検討WGの目的、課題に関する意見交換
 - SWG組成の発表・募集
 - **2016/6/29：第2回WG〔場所；ハロー貸会議室神田〕**
 - SWG企画実施内容等の発表と意見交換

ビジネス化の検討と、その推進に向け、
WGメンバー以外の知見や見識を知ることも重要！！

オブザーバー参加者やWG関連の外部有識者による
『ミニ講演と質疑応答』を行うことを、第2回WGで座長提案！
第3回WGから実施。



2016年度活動概況(2) -WG②-

- **2016/9/28 : 第3回WG [場所 ; NATULUCK日本橋]**
 - ミニ講演『★爆発するIoT★ビジネスチャンスはどこにあるか？
＝最新のI-IoT、E-IoTの動向と今後の展望＝』
インプレス SmartGridニューズレター編集部 三橋昭和氏
 - SWGの中間レビュー結果と意見交換

- **2016/12/15 : 第4回WG [場所 ; フォーラムミカサ エコ]**
 - ミニ講演『(株)産業革新機構のIoT、ビッグデータ、AIに関する取組』
(株)産業革新機構 投資グループ ヴァイスプレジデント 風間淳史氏
 - SWGの中間レビュー結果と意見交換
 - 規制・制度の環境整備に関する発表と意見交換

- **2017/2/23 : 第5回WG [場所 ; フォーラムミカサ エコ]**
 - ミニ講演『_iOSコンソーシアム IoT & Connected Device WGのご紹介』
(一社)iOSコンソーシアム WGコアチームメンバー 萩野泰士氏
 - SWGの本年度の活動報告と意見交換
 - 本年度のWG活動報告

2016年度活動概況(3) - SWG -

- 2016年度は、WGのさらなる発展・展開を目指し、以下2つのSWGを組成し、メンバー間の連携、共創によるビジネス化に向けて推進を実施。

SWG-A：データ流通SWG

《目的・目指す姿》

企業内の保有データ・センサデータ等、現在、一般に公開されていない情報やデータの利活用と、その促進を図り、必要な人（企業）が、必要な時に、低廉かつスピーディに利用可能なデータ流通のためのエコシステム型プラットフォーム（PF）の構築を目指す。

《参加企業》

(株)DTS（主査：宮田氏）、(株)インテック、インターネットエクスチェンジ(株)、エブリセンスジャパン(株)、かもめエンジニアリング(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、(株)インターネット総合研究所 計7社

《活動概況》

概ね月1回程度（全6回）のSWG会合を実施。また、SWGの中を、ビジネスチーム、技術チームに分け、それぞれアドホックに精力的な会合を実施。現在、ユーザーヒアリングやアンケート調査を実施中の他、次年度の実証実験WG（真野座長）との連携に向けて、企画・構想の検討・立案中。

SWG-B：IoT無線方式からのビジネス展開検討SWG

《目的・目指す姿》

IoTビジネス用途の無線規格であるLPWANが注目されてきており、この主な特徴である『低価格』や『電池駆動でロングライフ』、『超広域エリア』を生かしたIoTビジネスの創出を検討する。

《参加企業》

KCCSモバイルエンジニアリング(株)（主査：椎野氏）、(株)インテック、NTTコミュニケーションズ(株)、(株)DTS、フリービット(株)、ヤンマー(株)、(株)リコー、(株)インターネット総合研究所 計8社

《活動概況》

今年度、全4回のSWG会合を実施。LPWAの特徴が活かせるユースシーンのプレストや、社会的課題を踏まえた社会実装の視点からの適用領域やアプリケーション等について議論実施。実ビジネスとの関連性深掘りや、テストベットによるフィールド検証を視野に入れた活動を行うも、コスト負担等、実施展開に向けて解決すべき課題について確認。なお、メンバーによるフィールド検証意向は強い。

2017年度活動基本方針

《今年度の振り返り》

- 2016年度は、WGのさらなる発展・展開を目指し、2つのSWG組成や、ミニ講演の導入開催等、メンバー間のさらなる連携と共創によるビジネス化の推進に注力。
- SWGに関しては、当初掲げた目標と実施内容について、完遂できたわけではないが、SWG活動を通して、新たな気づきや発見、また、新たな課題認識の醸成も。
- ミニ講演は、情報収集、情報共有の場としてのみならず、オープンイノベーションやエコシステムの創造に寄与するものと認識。
- 一方で、IoT推進委員会の設立趣意・目的として掲げた、利用産業分野（建設業、運輸業、製造業、農業、医療など）との共創推進という面では、課題が残る結果に。
- また、実証実験WGとの連携についても、2016年度は実現まで至らず。2017年度は、是非とも実現させ、ビジネス創生を加速したい。



《2017年度WG活動の基本方針》

本年度(2016年度)の活動で、良かったところは積極的に維持・継続。
また、不十分だったり、課題が残ったところは、その改善に努めながら、メンバー各
位の具体的なIoTビジネスの創造とその実現に向け、さらなる推進・展開を。
メンバーの皆さん、WG活動に対するご理解と積極的な取り組みに感謝致します！

《募集条件》

- (一財)インターネット協会の会員で、IoTビジネスの創生に興味を有していること。
- WGメンバーとして積極的に活動する意欲を有し、WG活動の推進に協力的であること。
- WG年間活動スケジュールに示す各会合に参加、もしくは代理参加し、協働可能なこと。
- WG内における情報等の取扱について合意可能なこと。
*WG活動の中で利活用した情報等については、原則関係者外秘扱いとし、活動報告等の公表については、WGで承認を得た上で実施。

参加は、随時、受け付けています。

ご興味のある方は、事務局まで。

是非一緒にIoTビジネスの創生にチャレンジしましょう！

IA japan